

笑顔の力

登下校の際、校門の体育館側に、第76期生徒会スローガンが大きく掲示されていることに気付いた人もいます。「496の笑顔と個性が輝く三尻中学校 ～ 認め合い・尊重し合い・高め合い ～」このスローガンは、先日の生徒総会でも紹介されました。496という数字は、三尻中学校の全校生徒のことを表しています。生徒総会で生徒会本部役員さんがスローガンを紹介した時の文章を預かっていますので、もう一度読みます。「三尻中学校の生徒の中には、太陽のように力強くみんなを明るく照らす人や、月のようにスポットライトを受け、おだやかにみんなを見守ってくれるような人もいます。このスローガンには、三尻中学校の生徒全員が笑顔と個性を輝かせることのできる学校にしたいという思いを込めました。」こういう学校をつくろうとする生徒の皆さんを、先生方や保護者・地域の皆様と共に支え、応援したいとの思いを、改めてもつことができました。

ここでは、スローガンの中で使われている言葉「笑顔」にまつわるお話をします。

今週の月曜日の陸上競技をもって学校総合体育大会の予選会、全ての日程が終了しました。応援のため各会場をまわっていると、どの会場でも、3年生を中心に頑張っている姿を見ることができました。印象に残る場面は多々ありますが、一例として、ソフトボール部の試合（予選リーグ）のことに触れたいと思います。

会場である荒川緑地公園に到着し、まず目に入ったのは、相手投手のスピードボールでした。聞くところによると、将来を期待されている投手だそうです。試合は序盤で0-4の劣勢。それでも、ベンチや応援席から大きな声援があり、雰囲気はとてもいいと感じました。ベンチの監督からは「100点満点の笑顔で!」「スマイル、スマイル!試合を楽しんで!」との声が響いています。選手もそれに応えるように、笑顔で試合に臨んでいました。3回の三尻中の攻撃、中澤さんが見事スリーベースヒットを放つとさらに盛り上がりました。4番の中村さんが打席で粘り、セカンドゴロでランナーをかえし、待望の1点を獲得。この1点に感動です。さらなる追加点の期待も高まりましたが、残念ながら、得点差では追いつくことができませんでした。それでも、最後の最後まで続けた全力プレーと全力応援、そして会場全体に広がっていた笑顔。とても印象に残る試合でした。

この試合を通じて、笑顔のもつ力を再認識しました。1つ目は、自分自身の力を最大限に発揮させてくれる力です。笑顔になると、口角や頬の筋肉があがります。それを、私たちの脳は「楽しいことをしている」と認識するのです。「楽しいから笑うのではない。笑うから楽しいのだ」という言葉もあります。脳が「楽しい」と認識すると、体全体が自然にリラックスし、気持ちも前向きになり、血流もよくなります。ですから、自分自身もっている力を、最大限に発揮することができるのだそうです。

笑顔の2つ目の力は、周りの人も笑顔にしてしまう力だと思います。人は相手の表情に敏感に反応します。相手が笑顔であれば、自分も笑顔になったという経験は誰もがもっているはずです。皆さん一人一人の笑顔も同じように、あなたの周りの誰かを笑顔にし、力を与えているのだと思います。笑顔は伝わりやすい特性をもっているのですね。笑顔の連鎖で、部活動だけではなく学級・学年・学校全体が笑顔で一杯になってほしいです。

1日でもはやく、マスクを付けない日々が当たり前になればいいです。そうすれば、もっともって皆さん一人一人の笑顔が輝くのだと思います。先生方や三尻中学区の地域の皆様の合言葉は「全ては子供たちの笑顔のために」です。皆さんを応援しています。